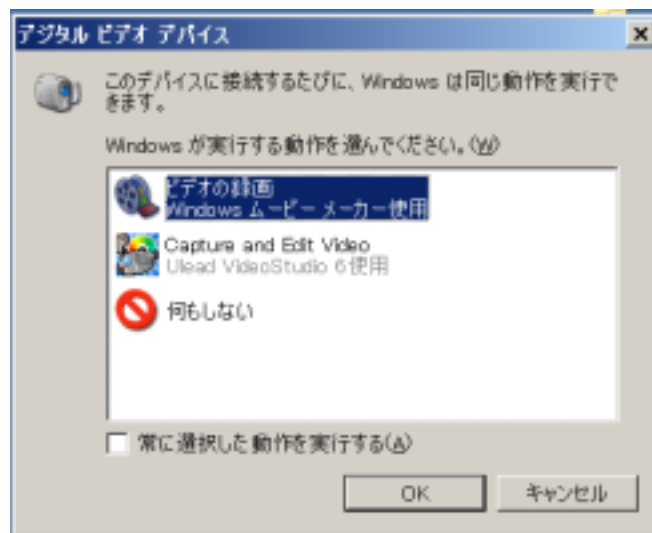


簡易版オンデマンド・ビデオ作成法

Windows Movie Maker を使用した場合

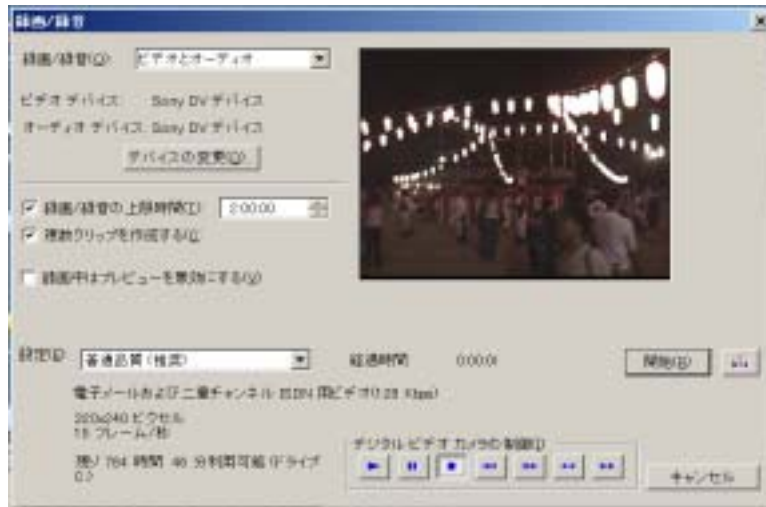
VD（デジタルビデオ）端子付のデジタルビデオカメラとウィンドウズのコンピュータをDV ケーブルでつなく。コンピュータに端子がない場合は、IEEE1394 対応キャプチャボード（DV ケーブル付きの安いもので 5,000 円ほど）を購入して、コンピュータの裏に設置する必要がある。

デジタルビデオカメラのスイッチを「ビデオ」にすれば、コンピュータのデスクトップ上に次のような画面が自動的に現われる（スピーカーの電源を入れておくこと）。

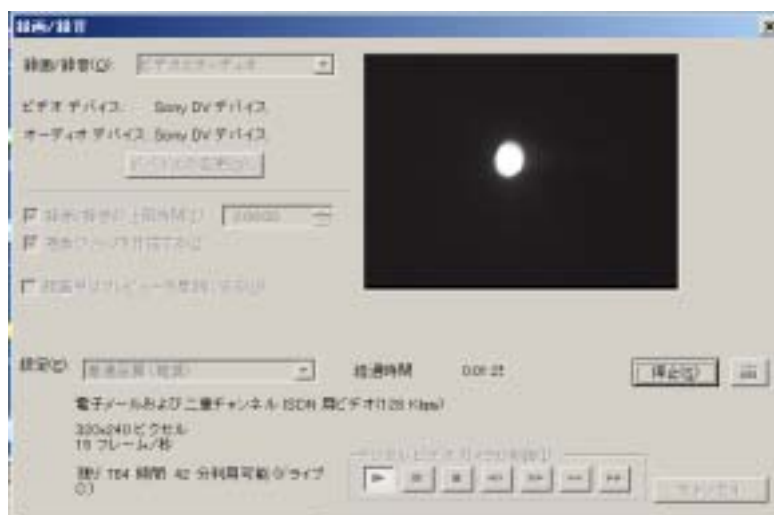


「ビデオの録画」を選んで「OK」をクリックすると、次のような画面になるので、「デジタルビデオカメラの制御」ボタン（巻き戻し、先送り、再生など）を押して、その次の画面のように、ビデオの開始の場面にする。





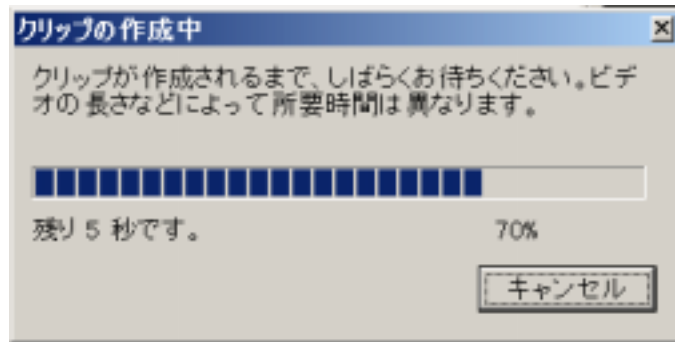
ビデオクリップが1つだけの場合は、「複数のクリップを作成する」のチェックを取って、「開始」ボタンをクリック。クリックすると「開始」ボタンがすぐに「停止」ボタンに変わるので、次のように終わりにしたい場面で「停止」ボタンを押す。



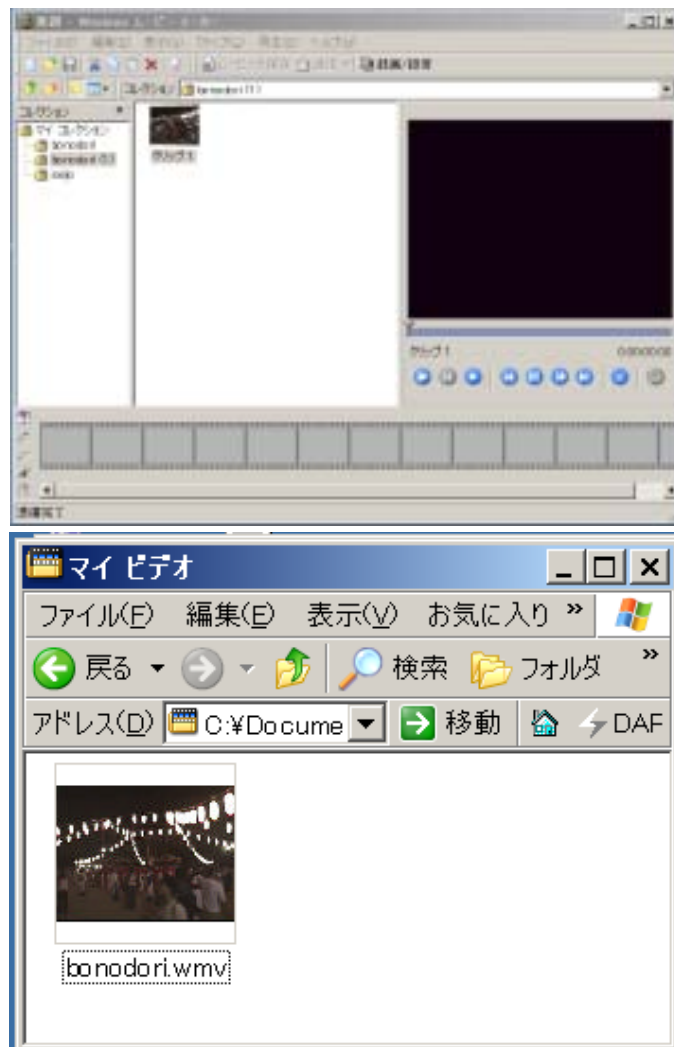
「開始」ボタンを押した時か、「停止」ボタンを押した時に、次のようにビデオクリップの保存名を尋ねてくるので、適当な名前のあとに .wmv という拡張子（例 bonodori.wmv）と付けて、「保存」のボタンを押す。



「停止」ボタンを押すと、次のように「クリップの作成中」という表示が出る。



作成が終わると次のような画面となるので、「マイビデオ」のフォルダ(ハードディスク => Documents and Settings => Your Name => My Documents の中にある)に、.wmv という拡張子を付けて保存した名前のファイルがあるかどうかを確認する。



これで Windows Movie Maker を使ったビデオクリップが完成。アイコンをダブルクリックするか、Windows Media Player のアイコンにかぶせて、ちゃんと出来ているかを確認する。

ウェブ上に公開するには、HTML ファイルと同じようにリンクを張るだけだが、このファイルは RealPlayer や QuickTime では再生されない。ウィンドウズ・ユーザのコンピュータには大抵は Windows Media Player がインストールされているので問題ないが、マックユーザのためには、このファイルがウィンドウズのメディアクリップであることをリンクする場所で明示しておいた方がいいかもしれない。

マックユーザにはマック用の Windows Media Player がある。

<http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/mac71.asp>



Windows Movie Maker のビデオクリップを RealProducer で RealMedia クリップに変換する方法は、「Macintosh iMovie を使用した場合」のマニュアルの最後を御覧ください。

(以上)